

出張報告

「第18回天理大学国際参加プロジェクト」(ネパール)に参加
堀内みどり

2月13日から28日にかけて実施された2018年度の「天理大学国際参加プロジェクト(IPP)」に参加した。第18回を数える同プロジェクトは、ネパールでの活動の3年目(最終年)に当たり、学生17名、スタッフ4名で活動した。

【日程・活動】

2月13日、TG673にて出発。バンコクで1泊。14日TG319にてカトマンズ着。16時頃ホテル着。

2月15日、天理教ネパール連絡所長上村義治氏と共に連絡所に路線バスにて移動、参拝。連絡所で昼食。15時～16時にかけてホストファミリーがホテルに学生を迎えに来てくださる。2泊。

2月16日、「Room to Read」(NGO)、「Ratna Publications」を訪問し、活動先の2つの小学校へ寄贈する子供用の本を整える。各校150冊。

2月17日、学生がホームステイ先から戻る。11時にマノージ氏(東真明講)・連絡所のおたすけ隊とともに、コカナ村にある被災地キャンプ周辺でゴミ拾いのひのきしん。

2月18日～20日、サクー村のShree Jagriti Primary Schoolにて活動。今回は17人の学生が3つの班に分かれ、それぞれ、美術・音楽・体育の授業を行った。18日の美術では絵の



① ゴミ拾いひのきしん

具を混ぜて新たな色を作り、スポンジで絵を描くなどした。19日の音楽はリコーダーを使った授業。吹き方やネパールで人気の歌をネパール語で表記したテキストを渡し、学生が一つひとつ実演しながら、子どもたちに教えた。20日の体育では、手作りの「コーンホール」(1m四方の板に1～3の穴を開けたもの)を持参し、そこにボールを投げ入れるという競技を4つのグループに分けて行った。距離が遠いところから投げ入れるほど点数が高くなるというもので、グループ全体の得点が集計された。各グループ10人程の子どもが参加した。また、この日は体育の授業に先立ち、事前研修で交流がある宇陀市立兎田野小学校とスカイプによる交流会が企画された。山に囲まれた山中の学校での試みであったが、何とかお互いに話ができた。ジャグニティ側からはスニータさんが英語で自己紹介と学校紹介をし、歌を歌ってくれた。兎田野の小学生も学校紹介してくれた。音声がよく伝わらなかったこともあったが、ジャグニティの子どもたちは日本から届く映像を通して大変興味深そうに見ていた。

2月21日、「Build Up Nepal (BUN)」(NGO)がネパール大地震復興のために活動している村で、レンガ



② ジャグニティ小学校

造りに参加。カトマンズ市内から約1時間の村は、全59軒で、小学校やチベット仏教の修行所(僧になるための学校、約100人が就学中)がある。BUNは、焼きレンガではなく、地元の土や土砂に約10%のセメントを混ぜたレンガを作成することを住民に教えた。住民はそのレンガを造るために機械を購入して自らレンガを造って家を建てている。1軒に約3,000個～5,000個のレンガが必要で、そのレンガを1台の機械(材料を型に入れ、圧縮し、水を掛けながら約10日～2週間乾かし、固いものにしていく)で造る。砂や土から余分なもの(葉やゴミなど)を取り除く人、材料を混ぜる人、型に材料を入れる人、型に入った材料をしっかりと押し詰める人、それを圧縮する人、できたレンガのもとを運んで並べる人がやすみなく作業する。学生は、2班に分かれて、交替で、一方は村を案内してもらい、一方はレンガを造った。



③ 音楽の授業



④ コーンホール

2月22日・23日・25日、Shree Kshitiz Basic Schoolにて活動。活動内容はShree Jagriti Primary Schoolと同様だが、この頃から体調不良のため活動に参加できない学生がいた。

2月22日、小学校での活動のあと、JICAネパール事務所にて研修。主にネパールでの教育活動支援と草の根活動への支援について、それぞれの担当者からお話を聞いた。

2月24日、トリブヴァン大学国際キャンパスで日本語を学ぶ学生との交流会。この日は土曜日で学校が休み(ネパールでは土曜日が休日)なので、ホテルでミーティングルームとして借りていた部屋での交流会となった。天理の学生は事前に作成してきたパワーポイントで、美術班は「日本の四季」、音楽班は「若者文化」、体育班は「日本で人気のスポーツ」をそれぞれ紹介した。その後、日本語スピーチ大会に出たトリブヴァンの学生2人が、そのスピーチを披露した。そして、ホテルの中庭で、それぞれの大学の数名ずつがグループとなり約30分の意見交換をし、そのグループで3時半まで行動をともにし、市内を散策、昼食を食べてホテルに戻ってきた。

2月25日、チティーズ小学校での活動後、ホテル近くのレストランで、連絡所の関係者、ホストファミリーを招いての「お礼会」。

2月26日、市内観光。ボードナート(チベット仏教の中心的拠点)、パシュパティナート(ネパールの最大のヒンドゥー教寺院、火葬場があり、バグマティ川を挟んで非ヒンドゥーは対岸からその様子を見ることができると)を、マノージ氏の案内で見学。その後、真明講参拝。軽食を御馳走になる。

2月27日、TG320にてカトマンズ出発。バンコク経由でTG622にて28日帰国。